



研究者名※	大塚 美香 OTSUKA Mika	学位※	博士(学術)
所属※	家政学部通信教育課程 生活芸術学科	職名※	特任准教授
連絡先	ostukam@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/mikaotsuka1971		
研究分野※	複合領域・生活科学・衣生活学		
研究キーワード※	消費者行動、被服材料、染色整理		
共同研究・競争的資金等の研究課題	「繊維の吸着水の観察」東京都専修学校各種学校協会研究費 1996年		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴	日本材料科学会 未澤賞(新人賞) 2002年		

研究領域	消費者行動、消費者教育	(SDGs)
研究テーマ※	在日留学生の衣服における購買行動等について	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 「留学生30万人計画」により、大学等のグローバル化を目指してきた日本であるが、留学生の日本での生活の支援については十分ではないように思われる。文化や生活習慣が異なる留学生が、母国からどの程度衣服を持参しているのか、日本でどのように衣服を選択し購入しているのか、またその使用方法や管理について調査を行い、留学生の支援に役立てるとともに、生活習慣の違いによる衣服の購買行動、使用方法の違いを探る。</p> <p>【応用例、研究の展望】 外国人留学生の日本における購買行動を調べることによって、①衣服だけのとどまらず、留学生が購買行動を行う際どのように情報収集をしているのか、②購買行動から見る日本での生活で困っていること、③日本に来日してからの購買行動の変容があった場合はその原因を探るなどの調査に展開させ、留学生並びに在日外国人にとって衣服を購入しやすい環境とはどういったことなのかに展開する。また、着用後の洗濯や保管などについて日本に来日してから困ったことがあれば、調査をしていきたい。</p> <p>【研究方法の特色】 日本語学校並びに留学生が多く在籍する専門学校へのアンケート調査、聞き取り調査を行い、国籍別、在日年数別、日本語習得状況別などのグループに分け違いがあるかどうか、ある場合にはどのような違いがあるか調査する。非漢字圏出身の留学生においては、金銭的な理由で必要最低限の生活をしている場合もあるので、そういったバックグラウンドにも注意をする。 また可能であれば、日本で起業しているアパレル・ファッション関係の会社の外国人に聞き取りを行いたい。</p>	
本研究関連 特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	
共同研究・外部機関 との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	